

蒼井 優 葉山 奨之 浅野 雅博

ス カ イ ラ イ ト
S K Y L I G H T

作—デイヴィッド・ヘア
翻訳—浦辺千鶴 演出—小川絵梨子

2018
12.6—12.24 12.1 | 12.2
THU MON / HOLIDAY SAT SUN

PREVIEWS
[プレビュー公演]

前売開始 | 2018.10.13 | SAT |

かつて不倫関係にあった男女が再び出会い、交わされる会話。
未練、不信感、……共有する意識の間で揺れ動く二人の一夜を描く。
芸術監督・小川絵梨子が自ら演出を手がける必見の舞台。



【芸術監督・演出】小川絵梨子



【翻訳】浦辺千鶴



蒼井 優



葉山奨之



浅野雅博

【チケット好評発売中 ☞ 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999】

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

©新国立劇場 制作部演劇 広報担当

TEL: 03-5352-5738 / FAX: 03-5352-5709

©新国立劇場 制作部演劇 制作担当

TEL: 03-5352-5736



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp>

◎作品について

小川絵梨子が芸術監督就任後初の演出作品として取り上げるのは、演劇の原点とも言える“対話”の力への信頼に基づいた秀作、デイヴィッド・ヘアの『スカイライト』。1995年に初演されて以降、様々な演出家の手により幾度となく上演が重ねられてきました。かつて不倫関係にあった二人の男女のダイアログは、常に綱渡りのような緊張を孕み、ちょっとした一言で均衡が大きく揺らいでいく様は、まさにドラマティック。登場人物はわずか三人、しかも舞台にいるのは常に二人だけというミニマムな人間関係を、戯曲の機微を細やかに掬い取る手腕が高い評価を得る小川絵梨子が、どのように演出するかが見どころです。

◎あらすじ

ロンドン中心部から離れた質素なアパートに住むキラの元に、かつての不倫相手の息子であるエドワードがやってくる。妻アリスを亡くして以来、不安定なままの父親トムを助けてほしいと言い残し、彼は去る。

同じ日の夜、期せずしてトムもまたキラの元を訪れる。三年ほど前、不倫関係が明るみになった日以来、初めて再会した二人は、夜更けまでこれまでのことを語り合う。お互いへのいまだ消えぬ想いと、解けない不信感、共有する罪の意識の間で大きく揺れ動く二人の会話は、やがてそれぞれの価値観の違いへと触れて行く。相手の急所を射抜く言葉を知っている二人の駆け引きがたどり着く先は.....。

◎翻訳 浦辺千鶴からのメッセージ

優れた作品には、いつの時代のどこの国を扱っていても、現代の観客の心を揺さぶる普遍性がある。本作で描かれているのは、1990年代のロンドンを舞台に、かつて恋愛関係にあった男女の数時間だ。ただしそこはデイヴィッド・ヘア作品らしく、プライベートな個人の感情を滑らかに社会の現実へと繋いで見せる。愛をめぐる男女の感覚の違いに「あるある」と思っているうちに、いつしか二人の間の溝となっている社会の問題についても思いを巡らせているのだ。

1995年初演の「スカイライト」は、当時のイギリス社会の現実を踏まえて書かれているにも関わらず、2018年の世界が透けて見えてくる。作品の背景に大きく関わっているのは「階級」だが、階級により分断されたイギリスのみならず、トランプ政権下のアメリカの分断や移民問題に揺れるヨーロッパの分断など、「分断」がキーワードとなっている今の世界の姿が重なる。

劇中では気持ちのすれ違いを表すものとして登場するスカイライトだが、窓というものは内(個人)と外(社会)の境目という存在でもある。観客がその窓の外側に果たしてどのような景色を描くのか、作家は一人一人に委ねているのかもしれない。

◎演出 小川絵梨子からのメッセージ

この作品は「男女の関係」という最も小さな枠組みを描きながらも、「社会」という更にもう一つ大きな枠組みも描き出しています。ある一定の安定した社会を保つことは大事である一方、どうしてもその安定から漏れてしまう人々がいる。わかりやすい悪人などおらず、勸善懲悪ではない今日の社会でどうしても生まれてきてしまう歪みがある。物語は、それと必死に向き合う一人の女性と、社会をリードする立場にある一人の男性を軸に進んでいきます。共通にあるのはお互いへの思いと罪悪感だけ。二人の会話はまるでバランスを取ろうとしても取れないシーソーのようです。イギリスで書かれた本作ですが、今日の日本においても痛いほどに共感できる戯曲だと思います。二人の不安定な心の揺れを生々しく描きたいと思っています。

◎スタッフプロフィール

デイヴィッド・ヘア (David HARE)

1947年イギリス、サセックス生まれ。トム・ストップード、ハロルド・ピンター、ピーター・シェイファーらと並ぶイギリス現代演劇を代表する劇作家であり、演出・脚本・映画監督も手掛ける。ケンブリッジ大学で学び、68年ポータブル・シアター・カンパニー、74年ジョイント・ストックの劇団創設に参加。70～71年ロイヤル・コート・シアターの文芸部長、84～87年ナショナル・シアターのアソシエイト・ディレクターを務める。映画でも活躍しており、監督作品として、85年『ウェザビー』がベルリン国際映画祭金熊賞受賞。主な戯曲として『スラッグ』(70年イブニング・スタンダード新人作家賞)、『ブラウダ』(85年イブニング・スタンダード・ドラマ賞最優秀演劇賞)、『レイジング・デモン』(90年オリヴィエ賞最優秀作品賞)、『スカイライト』(95年オリヴィエ賞最優秀作品賞)、『ブルー・ルーム』『ブレス・オブ・ライフ ～女の肖像～』『軌道』『モデレート・ソプラノ』『レッドバーン』など。

浦辺千鶴 (URABE Chizuru)

上智短期大学英語学科、東京女子大学文理学部英米文学科卒業。小田島恒志、山内あゆ子両氏に師事。これまでに東急文化村、パソナ、新国立劇場などからの依頼で多くの作品の下訳を手掛けている。2009年、新国立劇場『シュート・ザ・クロウ』(小田島恒志氏との共訳)で本格的に翻訳家としてデビュー後、新国立劇場において、『星ノ数ホド』、『パッション』、『君が人生の時』を翻訳。『星ノ数ホド』、俳優座劇場『月の獣』の翻訳に対し、第8回小田島雄志・翻訳戯曲賞を受賞。

小川絵梨子 (OGAWA Eriko)

1978年、東京生まれ。2004年、アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。10年、サム・シェパード作『今は亡きヘンリー・モス』の翻訳で第3回小田島雄志・翻訳戯曲賞受賞。12年、『12人～奇跡の物語～』『夜の来訪者』『プライド』の演出で第19回読売演劇大賞優秀演出家賞、杉村春子賞受賞。14年『ピロマン』『帰郷・The Homecoming』『OPUS／作品』の演出で第48回紀伊國屋演劇賞個人賞、第16回千田是也賞、第21回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。最近の演出作品に『スポケーンの左手』『RED』『夜想曲集』『ユビュ王』『CRIMES OF THE HEART 一心の罪』『The Beauty Queen of Leenane』『ファン・ホーム』『マクガワント・トリロジー』『出口なし』など。新国立劇場では『OPUS／作品』『星ノ数ホド』『マリアの第一幻に長崎を想う曲』『1984』の演出のほか、『ウィンズロウ・ボーイ』の翻訳も手がけている。18年9月より新国立劇場演劇芸術監督。

◎出演者プロフィール

蒼井 優(AOI Yu)

ミュージカル『アニー』でデビュー。以後、映画、テレビ、CMと幅広く活躍。映画『彼女がその名を知らない鳥たち』『家族はつらいよ』シリーズ『東京家族』『アズミ・ハルコは行方不明』『たまたま』『FLOWERS』『おとうと』『フラガール』、ドラマ『先に生まれただけの僕』『若者たち 2014』『最も遠い銀河』『贖罪』『龍馬伝』『おせん』などに出演。2006年『フラガール』にて日本アカデミー賞最優秀助演女優賞・新人俳優賞、ブルーリボン賞主演女優賞、キネマ旬報映画賞助演女優賞、2017年『彼女がその名を知らない鳥たち』にて第41回日本アカデミー賞最優秀女優賞、第91回キネマ旬報ベスト・テン主演女優賞など多くの主演女優賞を受賞。

近年の主な舞台作品に『アンチゴース』『スポケーンの左手』『三人姉妹』『グッドバイ』『かもめ』『ZIPANG PUNK～五右衛門ロックⅢ』『サド公爵夫人』『その妹』『南へ』など。新国立劇場では『あわれ彼女は娼婦』に出演。

葉山奨之(HAYAMA Shono)

2011年、ドラマ『鈴木先生』でデビュー。以降、多くの映像作品に出演。2015年、NHK連続テレビ小説『まれ』でヒロインの弟を演じ、大きな注目を浴びる。これまでに映画『恋は雨上がりのように』『アズミ・ハルコは行方不明』、ドラマ『透明なゆりかご』『モンテ・クリスト伯・華麗なる復讐』『リフレイン』『セトウツミ』『僕たちがやりました』『突然ですが、明日結婚します』『逃げるは恥だが役に立つ』『いつかこの恋を思い出してきっと泣いてしまう』『大阪環状線 ひと駅ごとの愛物語』『サマー・ストーカーズ・ブルース』などに出演。2015年『狂人なおもて往生をとぐー昔、僕達は愛したー』で初舞台、同年に舞台「ツインズ」に出演。新国立劇場には初登場となる。

浅野雅博(ASANO Masahiro)

文学座附属演劇研究所を経て、1999年、文学座座員に。95年『愛の森』で初舞台。劇団公演のほか、外部出演や映像、ナレーション、ラジオドラマ、CMなどにも出演。文学座の石橋徹郎との自主プロデュースの二人芝居『モジョ ミキボー』『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』は、それぞれ1カ月間のロングラン上演を果たした。

近年の主な舞台作品に『Out of Order～イカれてるぜ！～』『ペール・ギュント』『喝采』『中橋公館』『もし、終電に乗り遅れたら…』『放浪記』『トロイラスとクレシダ』『帰郷/ The Homecoming』『闇に咲く花』など。新国立劇場では、『夜明け前』『浮標』『鳥瞰図』『ヘンリー六世』『るつぼ』『あわれ彼女は娼婦』『赤道の下のマクベス』『ヘンリー五世』に出演。

◎公演概要

【タイトル】 スカイライト (Skylight)

【スタッフ】

作: デイヴィッド・ヘア

翻訳: 浦辺千鶴 演出: 小川絵梨子

美術: 二村周作 / 照明: 松本大介 / 音響: 福澤裕之 / 衣裳: 高木阿友子

ヘアメイク: 鎌田直樹 / 演出助手: 渡邊千穂 / 舞台監督: 福本伸生

芸術監督 小川絵梨子

主催 新国立劇場

【キャスト】 蒼井優 葉山奨之 浅野雅博

【会場】 新国立劇場 小劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2018年12月6日(木)～12月24日(月・休)

※12月1日(土)、2日(日)にプレビュー公演あり

【料金】 A席6,480円、B席3,240円、Z席1,620円(税込)

※プレビュー公演はA席5,400円、B席3,240円、Z席1,620円(税込)

【チケット申し込み・お問い合わせ】※一般発売:9月9日(日)10:00～

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nnt/>

* **Z席1,620円** 公演当日10時よりボックスオフィス窓口で販売。1人1枚。電話予約不可。* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。* 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。